

★県北地域の感染症発生状況（7/2～7/8 福島県感染症動向調査より）

インフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症が小流行しています。

今月のトピックス

★7月28日は「日本肝炎デー」です。 あなたは「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか？

ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルスに感染して、肝臓の細胞が壊れていく病気です。国内最大級の感染症と言われ、日本人の約100人に1人が感染していると推計されています。

B型、C型肝炎ウイルスは、感染していても自覚症状がない方も多く、気づかないうちに慢性肝炎→肝硬変→肝がんへと進行し、発見が遅れると命に関わる病気となります。

血液検査により、初期の段階で感染を確認し、適切な治療を行えば、病気の進行を抑えたり、治したりすることも可能です。

まだ、肝炎検査を受けたことがない方は、検査を受けることをおすすめします。

※「ウイルス性肝炎」の情報は下記で検索できます！

検索キーワード「国立国際医療研究センター 肝炎情報センター」

＜肝炎ウイルス検査＞

市町村では40歳以上の方を対象に、「肝炎ウイルス検査」を実施しています。40歳以上で肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、お住まいの市町村の健診担当課にお問い合わせください。

市町村の検査が受けられない方は、保健所でも検査が受けられます。

問い合わせ先：県北保健所 024-534-4113
(平日 8:30～17:15)

＜B型肝炎予防接種＞

2016年からB型肝炎ウイルスの感染を予防するため、定期的な予防接種が実施されています。接種はお早めに！

- 対象：生後1歳未満の小児
- 標準接種期間と回数：
生後2ヶ月～9ヶ月までに3回

＜夏休みに海外旅行を予定している方＞

海外には日本ではあまり見られない様々な感染症が流行しています。旅行前に厚生労働省の「夏休みにおける海外での感染症予防について」のページをご覧ください。

感染症によっては潜伏期間が1週間以上と長いものもあります。帰国後しばらくして具合が悪くなった場合、受診時、渡航先などを医師に伝えてください。

福島県県南地域で麻しん（はしか）が発生中！

予防接種は早めに済ませましょう！

A～E型の内、日本ではB型とC型の肝炎ウイルスに感染している人が多いんだって。今年は肝炎ウイルス検査を受けてみるか…



発行日 平成30年7月19日
発行元 福島県県北保健所
医療薬事課
住所 〒960-8012
福島市御山町8-30
電話 024-534-4113
ホームページ
検索キーワード

福島県県北保健所